
勇者のアレでごめんなさい。

丈馱 春

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇者のアレでごめんなさい。

【Nコード】

N3097S

【作者名】

丈駄 春

【あらすじ】

優秀な兄をもつ東クンはひょんなことから勇者として…ではなく勇者についてきた付属品みたいな目で見られる。その後いろいろな困難に巻き込まれてゆく苦勞話。

主人公スペック

あまの
天野 東 あやの

身長148cm

容姿 黒髪黒目

優秀な兄と比べられてちょっとマイナスな思考の持ち主でも根は素直でまじめ。

童顔のため年下にも年下に見られている。

勇者の召喚に巻き込まれ『勇者のアレ』として周囲に見られる。かわいそうな苦勞人。

あまの
天野 北斗 ほくと

身長180cm

容姿 黒髪黒目

東の兄で勉強ができ、スポーツ万能で顔もイケメンであり、モテる。

この度、勇者として召喚された主人公的な立ち位置である。

ちなみに自分の存在が嫌いである。

理由は物語で語っていきます。

兄は勇者で僕は…巻き込まれたと思う(前書き)

一話一話が短いと思います。

兄は勇者で僕は…巻き込まれたと思う

東side

僕の名は天野 東。

中学三年生で家族構成は父親、母親、兄の北斗、そして僕だ。

うん。自己紹介としてはこんなところ。

そして僕は兄と一緒にの道で歩いていたら何故かよく分からない大理石の上に立っていたんだよね。

しかも、なんだかよく分からないローブみたいなものを全員着ている。

きつとお兄さんに用があるのだろうか。

そう思った僕は辺りを見回して兄を捜す。

隣にいた。

ゆさゆさと体をゆらすと

「うくんここは何処だ？」

起き上がり瞼をこすりながら兄は起き上がり質問した。

「さあ？」

僕は兄ほど優秀ではないので理解力も頭も早くない。だからわかるわけも無かった。

「あのすみません。勇者様」

大勢のローブを着た人たちの中から一人の女性が出てきた。

そして座っている僕たちの額に手を当てた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3097s/>

勇者のアレでごめんなさい。

2011年10月8日19時51分発行